

Jpn. J. Ent., 58 (3): 667-669. September 25, 1990

日本産コメツキムシ科の知見 (XXIII)¹⁾

大 平 仁 夫

岡崎国立共同研究機構生理学研究所
(〒444 岡崎市明大寺町字西郷中 38)

Notes on Some Elaterid-beetles from Japan (XXIII)

Hitoo ÔHIRA

National Institute for Physiological Sciences, Okazaki, 444 Japan

Abstract Miwa (1928) described a new variety, *Corymbites pruinus* var. *kiashianus*, from Nikko, Honshu, Japan. As the original description is very brief and as the whereabouts of the type specimen has not been ascertained, there has been much confusion on the identity of this variety. Recently, I had an opportunity to examine Miwa's collection, and found out a female specimen corresponding to the original description of the body structure, with the data closely agreeing with the original account. It seemed to be the type specimen used for preparing the original description by Y. Miwa. Its systematic position is determined as follows:

Actenicerus kiashianus Miwa, 1928, **comb. et stat. nov.**

Corymbites pruinus var. *kiashianus* Miwa, 1928, Ins. matsum., 2: 139 (Nikko) (holotype, female).

Actenicerus yamashitai ÔHIRA, 1968, Bull. Jpn. ent. acad., 4(3): 10 (Aomori-ken, Honshu). **Syn. nov.**

キアシシモフリコメツキについて

これは、日光の中禪寺で採集された1雄 (6-VI, 1911, S. MATSUMURA) にもとづいて、Miwa (1928) が *Corymbites pruinus* var. *kiashianus* と命名し記載を行った変種である。原記載は極めて簡単に「♂. Differs from *C. pruinus* Motschulsky in the following points: Body somewhat narrower. Elytral spots very conspicuous. Leg wholly bright reddish yellow. Length 14 mm. Width 4 mm.」となっている。

この個体については、Miwa (1934) のモノグラフにも説明があるが、やはり原記載と大同小異のきわめて簡単なもので、その実態については現在でもよくわかっていない。また、原記載以後、分布などについての断片的な記録があるが、いずれも推測の域を出ないか、あるいは誤同定と思われるものである。

本種の実態を知るには、原記載に用いられた基準標本を検する以外に方法がないと筆者は考え、台湾省農業試験所に保管されている三輪博士の採集品を調査したが、この中にはそれらしい個体を見いだすことはできなかった。しかし、1989年7月に、北海道大学農学部昆虫学教室に保管されているコメツキムシ類の標本を、高木貞夫教授の厚意で見る機会をえ、偶然にもこの中にそれらしい標本を見つけることができた。それは図示 (Fig. 1) したような個体である。

1) (XXXII): *Kontyû*, Tokyo, 46: 509-511 (1978).

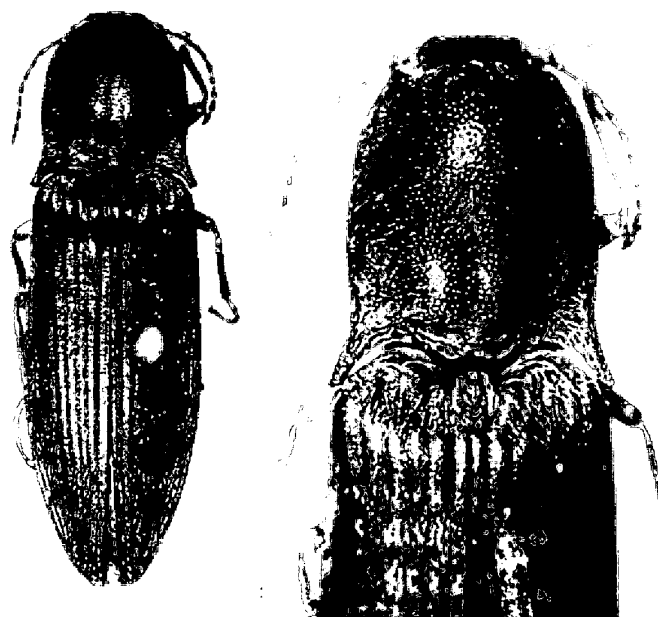


Fig. 1. Holotype of *Actenicerus kiashianus* (Miwa, 1928), female, deposited in the collection of the Entomological Laboratory, Department of Agriculture, Hokkaido University.

体長は 15 mm. 体の両側は平行状, 鈍い銅色を帯びた真鍮色の金属光沢を有し, 灰黄色毛を生ずるが, 上翅は褐色よりなる不明瞭な斑紋を生ずる. 触角は黄褐色であるが, 第 4 節目からの各節は暗褐色, 肢は黄褐色である. 前胸背板は矩形状で幅より明らかに長く, 正中部はやや扁平状で, 後半部は多少とも凹溝状である. また, 正中部周辺は円形の大型点刻を一樣に生じ, 点刻間の幅は一般に点刻の直径よりせまい. 触角は短く, 末端は前胸背板の後角より明らかに短い. 第 2 節は短小で球形状, 第 3 節は細長い三角形状, 第 4 節より顕著に鋸歯状を呈し, 第 3 節は第 4 節よりわずかに長い.

この個体は, 昆虫学教室の標本箱 (No. 17) の *Corymbites pruinosis* var. *kiashianus* Miwa と表示されたラベルのところに, 1 個体だけ置かれていたものである. 個体に付されてあったラベルは,

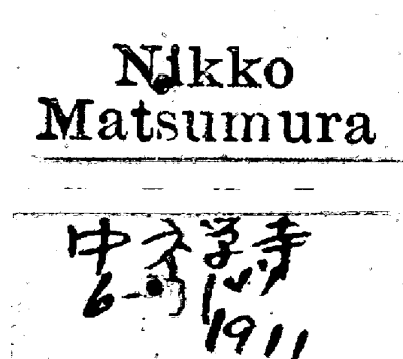


Fig. 2. Label of the holotype of *Actenicerus kiashianus* (Miwa, 1928), upper and under surfaces.

図示 (Fig. 2) したように、表に採集地と採集者名が印刷され、裏面に手書きの地名と日付が書かれた小型の1枚のみである。この個体は、体長や形態、それに採集地名や採集日など原記載によく一致している。ただ、原記載では雄とされているが、これは雌個体である。交尾器が外部にでていない個体のため、性を誤認されたものと考えられる。

筆者は、この個体と日本に分布する既知種とを詳細に比較検討した結果、1968年に青森県から新種として筆者が記載した *Actenicerus yamashitai* ÔHIRA, 1968 ホソシモフリコメツキの雌個体であるという結論に達した。以上の経緯から、この個体が原記載に用いられた正基準標本であることを確信し、命名法上の処理も合わせて行うことにした。

末尾に、北海道大学農学部昆虫学教室に保管されている、三輪勇四郎博士関連のコメツキムシ類の調査に便宜をいただいた高木貞夫教授、命名法上の処理についてご教示いただいた東京都の鈴木互博士に心からお礼を申し上げる。

引用文献

- 岸井 尚. (KISHII, T.), 1980. 日本産シモフリコメツキ虫の研究 (1). *Bull. Heian High School*, (24): 1-9, 7 pls.
- MIWA, Y., 1928. New and some rare species of Elateridae from the Japanese Empire. *Ins. matsum.*, 2: 133-146.
- 1934. The fauna of Elateridae in the Japanese Empire. *Dept. Agr. Gov. Res. Inst. Formosa*, (65): 1-289, 9 pls.
- ÔHIRA, H., 1968. New or little-known Elateridae from Japan, XI (Coleoptera). *Bull. Jpn. ent. Acad.*, 4(3): 9-12.
- 大平仁夫. (ÔHIRA, H.), 1970. 日本のコメツキムシ (IV). *昆虫と自然*, 5(9): 15-23.